



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

|         |      |                     |
|---------|------|---------------------|
| 近畿地方整備局 | 資料配布 | 平成28年4月18日<br>6時00分 |
| 資料配布    |      |                     |

|    |  |
|----|--|
| 件名 | 九州地方に TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣<br>—第4報— |
|----|--|

|    |   |
|----|---|
| 概要 | <p>平成28年4月14日（木）に発生した熊本地震災害の支援のため、以下のとおり緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）を派遣します。</p> <p><b>【派遣内容】</b><br/>平成28年4月18日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 派遣災害対策用機械<ul style="list-style-type: none"><li>・照明車4台（6時出発3台、13時出発予定1台）</li><li>・分解対応型バックホウ1台（午前中出発予定）</li></ul></li></ul> |
|----|---|

|     |   |
|-----|---|
| 取扱い | — |
|-----|---|

|      |                    |
|------|--------------------|
| 配布場所 | 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ |
|------|--------------------|

|      |   |
|------|---|
| 問合せ先 | 国土交通省 近畿地方整備局<br>企画部 企画課長 河元 隆利<br>06-4790-7520 災害対策室直通 |
|------|---|

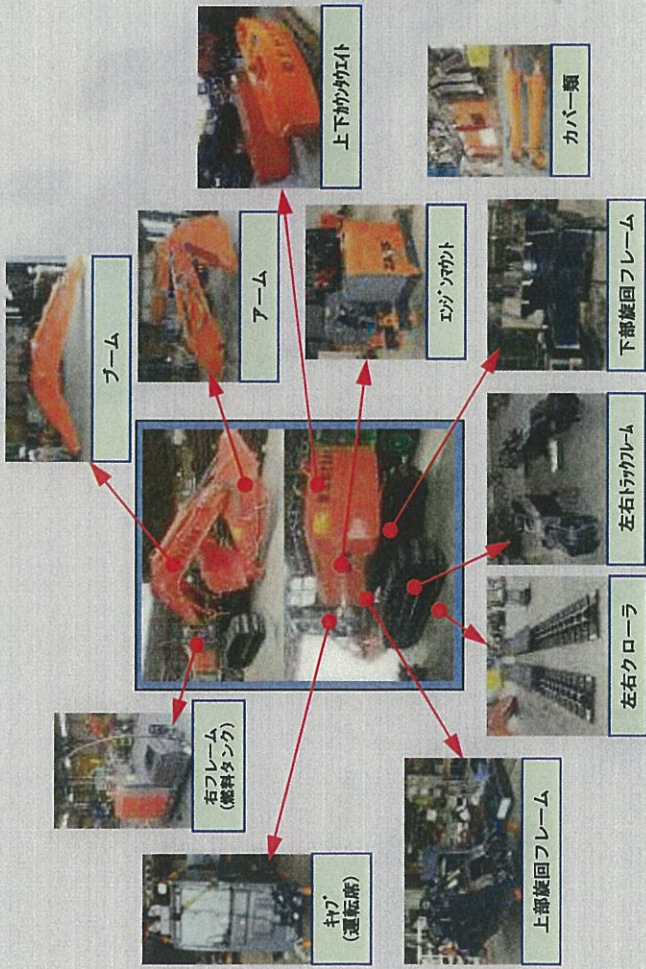


## 分解対応型バックホウ(遠隔操作式)の配備について

災害により土石流、天然ダム等が発生すると、さらなる大規模災害発生防止のために迅速な応急復旧を実施することが求められる。しかし、災害現場までの通行経路断絶等により復旧機材が投入できないなどの課題も抱えている。

そこで、迅速な災害復旧作業を行うため、容易な分解・組立てにより空輸が可能で、遠隔操作も可能な大型機械(バックホウ・1.0m<sup>3</sup>)の開発を行っている。

◆どのような被災地へでも短期間で出動し、復旧活動が行える  
大型建設機械をヘリコプターによる空輸が可能までに分割できる構造とした



◆危険な現場でも

2次災害の恐れ・急傾斜地の現場でも、オペレータは離れたところで操作できる遠隔操作式。

岩手宮城内陸地震



遠隔操作



- ・1.0m<sup>3</sup>級で初めて、空輸対応を実現
- ・無人化施工(遠隔操作)に対応
- ▶ 13~14ブロック(1ブロック最大2.8t)に分割し民間ヘリで空輸可能
- ▶ 危険な箇所での作業が可能(操作範囲約150m)